



創刊号

“みんなで育てる みんなのまち”

アダプトだより

●深まる活動 広がる輪

アダプト・プログラムは、道路・河川・公園などの公共空間を、市民の皆さんが主体となって美しくしようという活動の仕組みです。岐阜市では、平成15年度にモデル実施し、皆さんのご協力やご意見をもとに、今年度から本格的にスタートしました。現在16団体が登録、それぞれの創意工夫で活動の輪が広がっています。

「みんなで育てる みんなのまち」アダプトだより」は、お互いの活動内容やアイデアを交換し合う場として、今回、創刊しました。今後、随時発行していく予定です。皆さんの楽しいお便りをお待ちしています。

特集1

創造型アダプトって何？

岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”の特徴は、「一般型」(清掃活動・ポイ捨て防止)に加え、「創造型」(企画～美化や管理を行う)と、「文化財型」(地域のシンボルが対象)の3つがあることです。

花壇の企画管理と周辺の清掃活動を行う「両満花と緑の会」や、河川空間に自然とのふれあいや体験の場、放課後の遊び場、集団活動の場を企画整備する「水辺の楽校推進協議会」などもこの創造型に当たります。

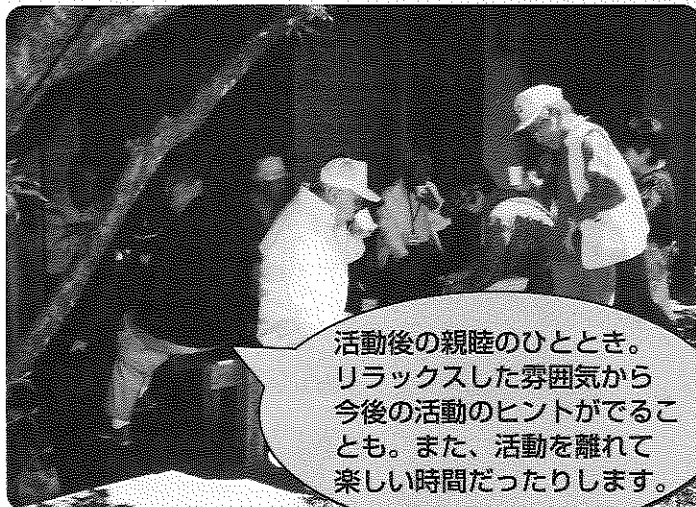
そこで今回は、市民提案タイプの創造型アダプト「梅林公園を守る会」の活動を紹介します。

「梅林公園を守る会」には、現在26人が参加。楊貴妃(ようきひ)をはじめとする約50種が咲く梅の名所として有名な梅林公園を対象に、定期的に活動を行っています。その内容は、清掃活動のほか、公園内の周囲約2.5kmへの竹柵整備。実はこの竹、長良川河畔の竹藪を、景観的にも優れた竹林に整備しようという市民活動によって伐採されたものを使っているのです。

まずは、竹柵の作り方の講習会を開催。竹の切り方、ひもの結び方などを、地域の経験者に学ぶこと4回。そしていよいよ、アダプトとして活動を開始したのです。

このほか、梅の木の下には野草を植え、会員の手入れにより和風の庭園に。

活動の後は、和気あいの反省会で盛り上がります。これも、会員の元気のもとにもなっています。



活動後の親睦のひととき。リラックスした雰囲気から今後の活動のヒントがでることも。また、活動を離れて楽しい時間だったりします。

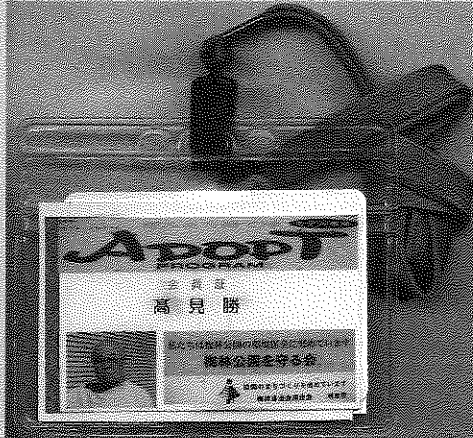
竹柵作り、清掃活動などの計画表。3ヶ月ごとに計画を立てて、会員に通知しています。

	1 月	2 月	3 月
竹 柵 整 備 9時～1時間程度		8日(日)	7日(日)
園 内 清 掃 (午 前 中)	13日(火)	6日(金)	4日(水)
	17日(土)	14日(土)	13日(土)
	25日(日)	22日(日)	28日(日)
野 草 園 花壇の草取り (午 前 中)		6日(金)	4日(水)
		14日(土)	13日(土)
		22日(日)	28日(日)

※1 活動しながら会員同志のコミュニケーションが図れますようお知り合いの方と一緒に参加して頂きたく、上記の日時に決めさせて頂きました。
 ※2 園内清掃及び野草園整備は各自都合のよい日に行って頂いて結構です。

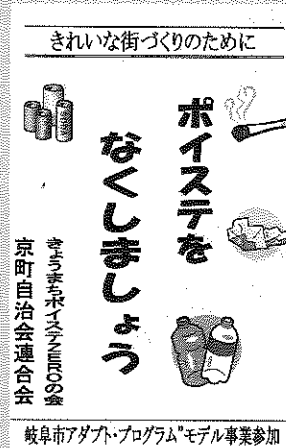
こなひと工夫

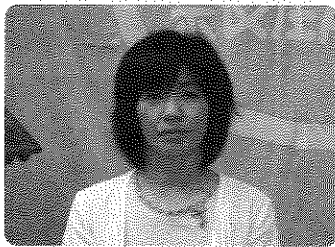
梅林公園を守る会では、会員の間で名札を作成し、会員の輪を広げています。



清掃活動の報告書をまとめてみたり、会員のみなさんが、工夫を凝らしていることなどがありましたら、情報をお寄せください!

きょうまちボイステZEROの会では、空き缶やタバコの吸殻のポイ捨て防止のためにポスターを作成し、京町地区内の各地に掲示しています。





青木友子さん

京町地域では、自治会連合会や各種団体(婦人会、日赤奉仕団、ことぶき会、母子福祉会、こども会、PTAなど)代表者が推進委員となり「きょうまちボイステZEROの会」を組織しています。

私は、住まいのある今小町交差点周辺で、自治会・子ども会・ことぶき会などの方と共にアダプトに参加しています。また、京町小学校・伊奈波中学校PTAの行う京町小学校周辺での活動にPTAの立場で参加しています。作成したポスターを掲示したり、清掃活動を毎月1回行っています。この地域では、家や事業所の前のごみは、自ら拾う習慣があり比較的きれいになっていると思います。各活動場所での取り組みやごみの状況、問題点、評価、意見を発表する反省会も設けているのが特に重要だと感じています。

ぎふまち 育て隊員の 声をレポート!

今回は「きょうまちボイステZEROの会」を訪問しました!!



松野和子さん

私は、桜並木が美しい景観をつくる京町地域の四屋町でアダプトに参加しています。この辺りの町内では、家の前は、自分がきれいに保っていく習慣があり、私も、桜の木が植えられた30年前から、毎日掃除をしています。春、桜の花が咲き終わった後や、秋の葉が散る時期には、朝、昼、晩と3度毎日家の前を掃き、ごみ袋2袋になることもあります。昨年からアダプト・プログラムに参加したことで、個人での取り組みが自治会を中心として若松町、四屋町、堀江町などの地域住民での清掃活動の取り組みへと変わっていきました。この通りでは、四屋桜並木を抜けて長良川堤へ犬の散歩に出かける方が多いのですが、犬のフンの始末の問題があります。その際、アダプトで立てられたサインボードの抑止効果は大きいと思います。

特集2

河川でのアダプト・プログラム

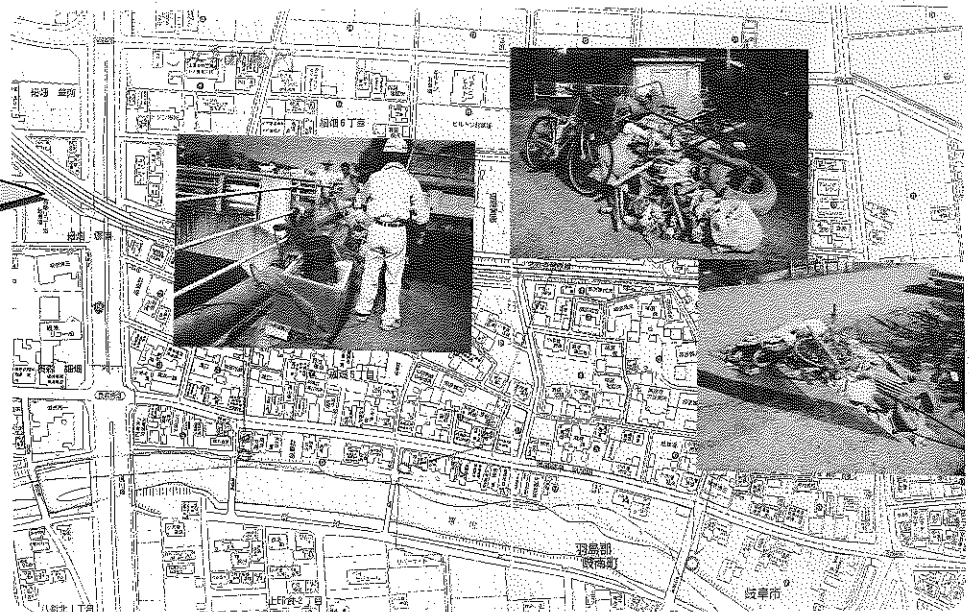
岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”に参加している16団体のうち、6団体は河川での清掃活動を実施しています。それぞれの団体が、川底や堤防に茂った雑草を刈ったり、ペットボトル・ビン・缶などポイ捨てされたゴミ、又は不法投棄された粗大ゴミの回収を行っています。今回は、「新荒田川をきれいにする会」、「細畑連合自治会」、「両満川をきれいにする会」、「三田洞東自治連合会」の活動を紹介します。

- 1 「新荒田川をきれいにする会」では、地域を流れる新荒田川で清掃活動を展開しています。平成16年4月18日(日)の活動では、長森西小学校の児童約40人を含む約200人が参加しました。子どもたちも、長靴で川に入り、空き缶などのごみを拾って歩きました。



- 2 「細畑連合自治会」は、岐南大橋から両天橋までの境川で、アダプト・プログラムを実施しています。美しい川を取り戻し、「ゴミを捨てない、捨てさせない」の啓発とマナー、モラルの向上を図ることを目的に活動しています。

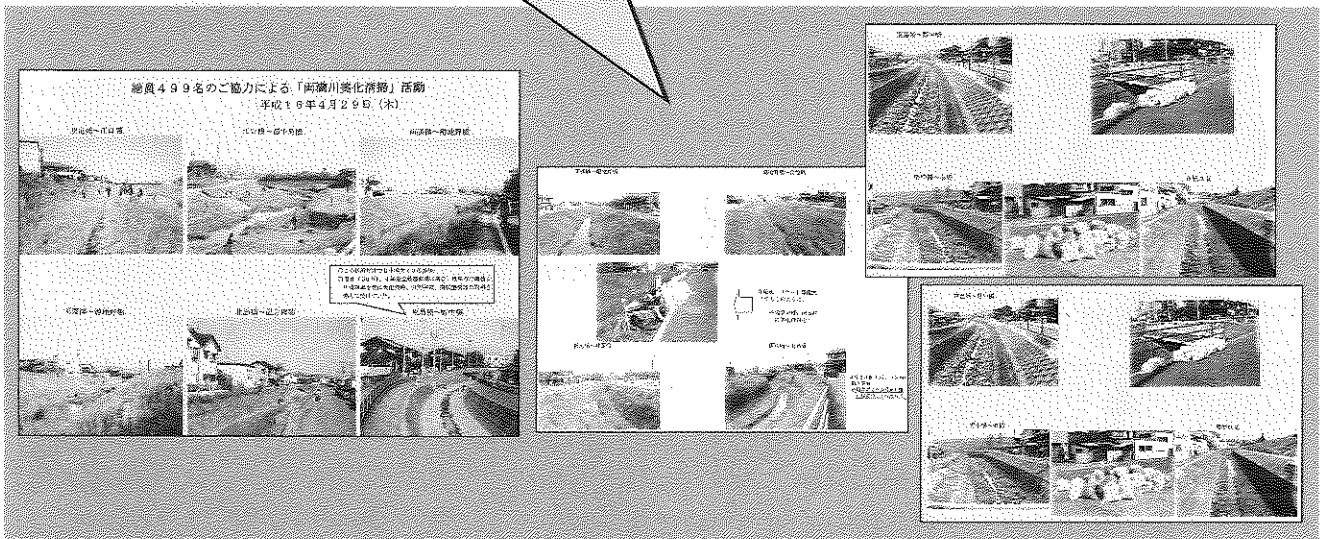
ごみ集積場所での
回収された
ゴミの山



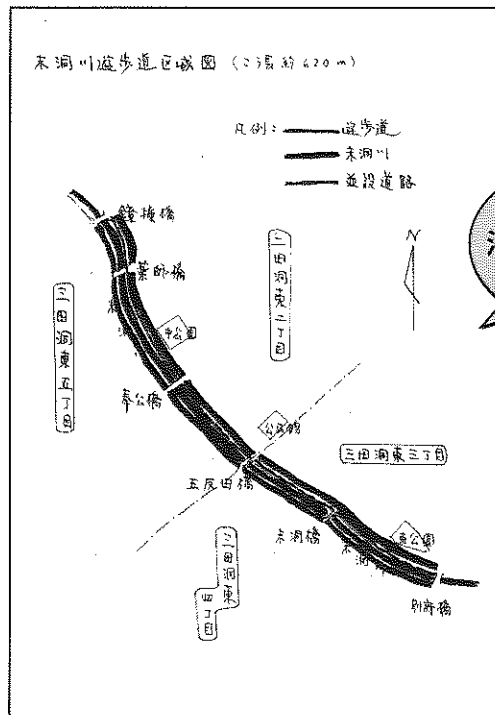
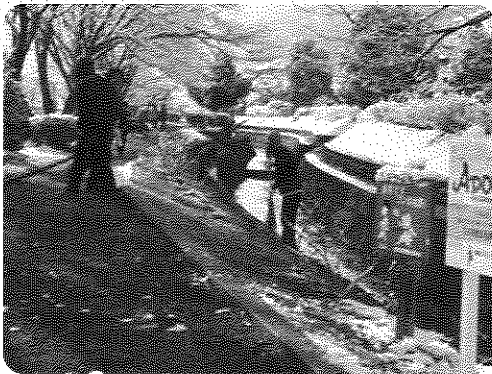
3 「両満川をきれいにする会」は、平成16年4月29日(祝)に、アダプト・プログラムの活動を行いました。

活動報告書から…

参加者は、499名。例えば東島橋～野中橋の区間では、小学生も19名の参加がありました。また、翌日(30日)には、岐阜市の職員から、清掃車を前に美化活動、分別回収などについての説明を受けました。4年生全員が小学校の校庭に集まり熱心に聞き入っていました。



4 「三田洞東自治連合会」は、末洞川水路、遊歩道と周辺の道路約620mの区間でアダプト・プログラムを実施しています。この日は、雪の降った後の寒い日でしたが、遊歩道の清掃を行いました。また、落ち葉の時期には、道路に隣接する人は、ほぼ毎日落ち葉を拾っています。



活動区域の地図

Adopt Program Members

岐阜版アダプト・プログラム「ぎふまち育て隊」に参加の団体(順不同)



きょうまちボイステZEROの会
(京町自治会連合会)

「元気・健康、そして協働の まちづくり」をめざして

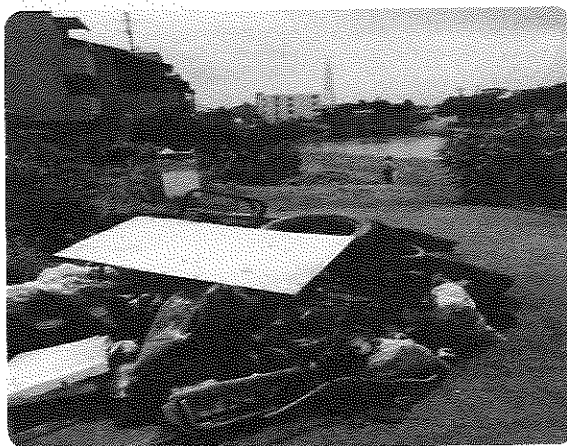
毎月1回朝8時から5ヶ所で清掃活動を行っています(美江寺交差点、京町小学校、岐阜盲学校、今小町交差点、四屋桜並木周辺の5地区)。ゴミは、空き缶・ペットボトル・落ち葉などのほか、特に交差点付近ではタバコの吸い殻が目立っています。

ポイ捨てを抑止する地域の力を身につけることが、最大の目的です。

(担当 土木管理室)

活動中には、サインボードを見た通行人が、「ポイ捨てあかんか。」と、捨てかけたタバコを思いとどまる光景も。

新しいサインボードに切り替わります。
ご期待ください。



細畑連合自治会

心ない不法投棄の抑止に向けて

岐南大橋から両天橋までの間の境川で、清掃活動を実施し、地元住民約50人が参加しています。ゴミ、ビン、ペットボトル、缶、粗大ゴミ(スクーター、自転車、タイヤ、金物等)4トン程度あったこともありました。「普段から地域みんなが境川の美化に心がけている。しかし、不法投棄が見られるのは残念。アダプト・プログラムが抑止のきっかけになれば良い」との参加者の感想でした。

(担当 河川室)

Adopt Program Members

岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”に参加の団体(順不同)



藍川美化推進委員会

和気あいあいのうちに きれいになります

会話を交わしながら、和やかな雰囲気のもと美化活動に取り組んでいます。アダプトだよりの表紙にも掲載されているとおり「奉仕の日 藍川老人クラブ」と染め抜かれたのほりが、アダプトサインボードとともに、道行く人々の目を引いていました。将来は、活動区域を岩井地区や長良川右岸有料道路周辺の地区まで広げたいと思っています。

(担当 土木管理室)



新荒田川をきれいにする会

児童も参加して活動！

昨年は、10月19日(日)の朝8時30分から1時間余りにわたり、長森西小の児童・PTA、ボランティア、そして地元長森西地区の住民130人ほどの参加により、新荒田川(竹橋から新荒田橋)の清掃活動を行いました。「川をきれいにして、子ども達の遊び場をよみがえらせた」「今後も続けていきたい」とは、参加者の感想でした。

(担当 河川室)

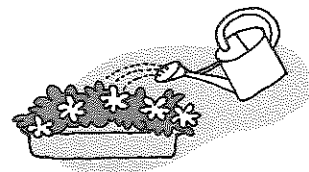


両満花と緑の会

花壇づくりがきっかけに！

「両満花と緑の会」では、東島北公園や島小学校周辺の通学路の清掃活動、ふれあい花壇の維持管理や花の植え込み、周辺の美化にも取り組んでいます。

(担当 みどり自然室)



Adopt Program Members

岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”に参加の団体(順不同)



日置江自治会連合会

地域ぐるみでの活動を展開

毎月第3日曜日、朝7時から日置江地区内での一斉清掃を行っています。早朝にも関わらず、子どもから大人まで多くの参加があります。

公共マナーの向上を、地域みんなで定着させたいと思っています。

(担当 循環型社会推進室)



華陽小PTA

小学校を対象に活動

華陽小の児童約30人とPTAのボランティア約20人が一緒になって、花壇にパンジーを植える作業を実施しました。子どもたちは慣れない作業に戸惑いながらも、楽しそうに参加していました。月1回程度活動を行います。花壇の手入れのほかにも、カーテン清掃や、大掃除の協力なども計画しています。

(担当 教育政策室)



上城古墳保存会

文化財型アダプトとしてスタート

上城田寺古墳群(第4古墳群)史跡内の清掃活動及び上城田寺古墳の保存啓発活動を行っています。

民有地のながの6~7世紀の古墳時代後期の円墳を町のシンボルとして地域から発信しています。

(担当 社会教育室)

Adopt Program Members

岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”に参加の団体(順不同)



三田洞東自治連合会

快適空間をより快適に

2月8日(日)の朝7時過ぎから、末洞川とその遊歩道を中心に、清掃活動を行いました。時折、雪が降るあいにくの天気でしたが、参加者は、一生懸命に活動に取り組んでいました。

平成15年度の活動結果

4月27日 310人、5月25日 340人、
7月6日 310人、9月7日 310人、
10月5日 310人、2月8日 340人

(担当 河川室)

準用河川戸石川 「(仮称)水辺の楽校推進協議会」

水辺の楽校とは？

戸石川を活用し、子どもたちのための自然とのふれあいや体験の場などを提供していく事業です。

「(仮称)水辺の楽校推進協議会」は、水辺の楽校ゾーン活動(清掃美化含む)及び整備計画について参画しています。

(担当 河川室)

モデル事業参加者の 意見から・・・

家に閉じこもりがちな人も
アダプト・プログラムをきっかけに、会員と会話をしたり、作業をすれば、毎日いきいき暮らし、地域の健康づくりにも役立つはずです。



梅林公園を守る会
(梅林自治会連合会)

モデル事業に参加されてのご意見・ご要望など、どんなことでも結構ですので以下にご記入ください。今後の参考とさせていただきます。

活動内容 公園内の清掃 竹柵作り。
平成15年12月に25名で発足した。
12月は竹柵作りを日時を決めて作業をしたが園内の清掃は「各自が都合のよい日、自由時間に行う」といことではじめたが1人で作業する人は把握が難しく作業する人はほとんどいなかった。
16年1月からは日時を決めて作業をした方が会員同志の「ミニエキスポ」が出来るという考えから竹柵作り2月1回、清掃2月3回日時を決めて行っている。会話をしながらの作業は楽しいため毎回10～15名が参加している。
構成メンバーは比較的、高年齢者が多く、健康づくりにもつなげることであり、地域健康計画の中で校区の屋外のいきいきサロンの場にもなる。
家に閉じこもりがちな人も呼び出して会話をしながらの作業をすれば、介護予防にも繋がることであり、この輪を広げたい。

(担当 公園整備室)

Adopt Program Members

岐阜版アダプト・プログラム“ぎふまち育て隊”に参加の団体(順不同)

大同コンサルタンツ(株)

岐阜市中鷺1、2丁目の市道で、ゴミ、空き缶等の収集、道路の美化作業を行っています。

平成15年度の活動結果

7月1日 53人、8月1日 70人、
9月1日 64人、11月4日 80人、
12月1日 74人、1月5日 63人、
2月2日 61人、3月1日 65人

(担当 土木管理室)

東邦ガス(株) 岐阜支店

毎月1回(第3木曜の午前8時30分から午前9時)社員約20人から30人で、清掃活動を行っています。

活動場所は、東邦ガス(株)岐阜支店(岐阜市加納坂井町2番地)から、JR岐阜駅南口までの歩道及び岐阜支店周辺の市道です。

平成15年度の活動結果

10月23日 51人、11月19日 49人、
12月17日 47人、1月21日 20人、
2月19日 29人、3月19日 30人

(担当 土木管理室)

両満川をきれいにする会

両満川を、野鳥と小魚が群がる憩いの場とするために!

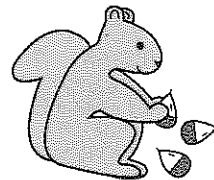
川底、側面、土手の除草。川底、土手、沿道部の空き缶、ペットボトル、ビン等の回収を通じて、島地域の中心を流れる両満川の環境美化を積極的に推進しています。

(担当 河川室)

金華山を美しくする会

金華山ドライブウェイ(堀割~プラネタリユウム跡駐車場間 約5キロ)及び山林での清掃活動を行っています。

(担当 土木管理室)

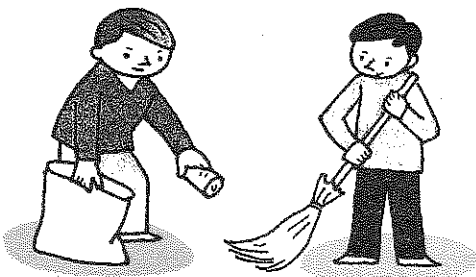


活動の情報を
お寄せください!

鳥羽川美化クラブ

平成16年度から、鳥羽川の清掃活動でアダプト・プログラムに参加します。

(担当 河川室)



アダプト・プログラムの活動は、岐阜市のホームページでも、掲載しています。

活動された時は、写真や、参加人数、ゴミの量などの情報をお寄せください。

アダプト・プログラムの活動が地域に認知された、親睦の輪がひろがったなど、アダプト・プログラム実施の成果を、ぜひお聞かせください。

“協働のまちづくり”って何だろう

●昔は……

地域には本来、地域の課題を自分たちで解決し、決定していく機能が備わっていました。地域の一員として、快適に暮らすためのお互いの暗黙のルールや仕組み(美化の習慣、環境の保全、景観の保持、相互扶助等)が、ごく普通に機能していました。

しかし、高度経済成長期を境として、公共空間の管理をはじめ地域の課題解決も、行政への依存傾向が強まってきました。地域社会におのずから培われてきたルールや仕組みも、その機能が縮小していきました。

しかし、今日、阪神・淡路大震災や日本海の重油流出事故をきっかけに、改めて地域コミュニティの重要性や市民ボランティアの社会的評価が高まりました。加えて、地方分権の進展に合わせ、地域住民によるまちづくり、言い換えれば都市内分権、住民分権の重要性が叫ばれるようになりました。



●補完性の原則とは?

このような社会背景の下に、「補完性の原則」がクローズアップされています。身の回りの問題は、まずは個人や家庭が解決にあたり、個人や家庭で解決できない問題は地域で解決し、それもできない問題は行政が解決する、という考え方です。いずれにしても、市民・自治会・各種団体・NPO法人・ボランティア団体の皆さんが、お互いに連携し、日常の問題を解決する環境づくりを通じ、心のふれあいと満足度を高めていくことが大切だと考えられます。



●“市民相互の協働”と“市民と行政の協働”

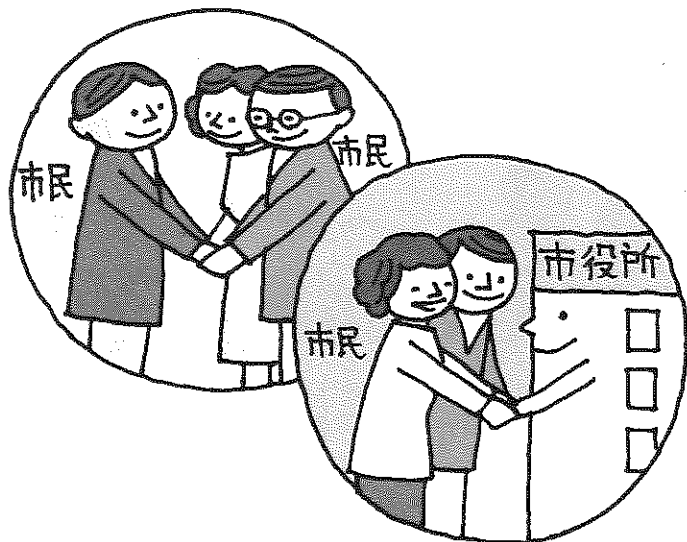
広く市民の皆さんが互いに支え合い、力を合わせてまちづくりに関わることが「協働のまちづくり」です。

「協働のまちづくり」には、「市民相互の協働」と、「市民と行政の協働」の二つがあります。

「市民相互の協働」とは、「市民同士が支え合って、地域のまちづくりを進めることのできる社会」を築くことです。

そして、「市民と行政の協働」とは、「市民と行政がまちづくりのパートナーとして、お互いに学び合い、育ち合うことのできる社会」を築くことです。

今回の「アダプト・プログラム」は、この二つの協働を兼ね備えた、具体的な取り組み手法の一つと言えるでしょう。

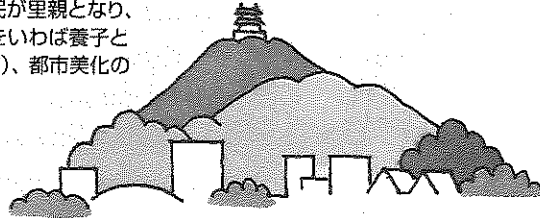


岐阜版 アダプト・プログラム

“ぎふまち育て隊” やっています。

あなたも
参加してみませんか
愛知万博や鵜飼へと、
世界から集まるお客様にも
住民自治の都市を発信!

●アダプト・プログラムとは、市民が里親となり、道路・河川などの公共の場所をいわば養子として面倒をみる(清掃活動など)、都市美化のしくみです。



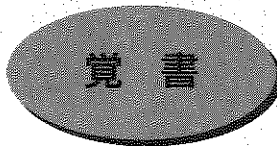
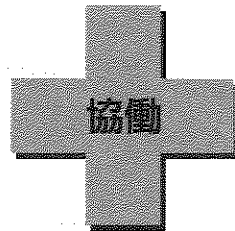
都市美化の対象=養子

公共の場所(駅前、繁華街、道路、公園、河川など)



市民・地域企業など=里親

市民の役割
・清掃・美化活動

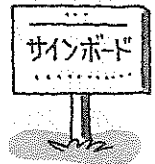


岐阜市と活動団体が締結



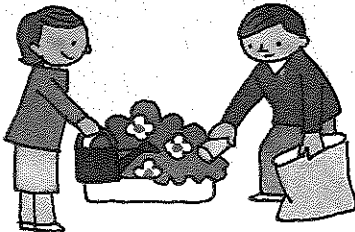
岐阜市

岐阜市の役割
・傷害保険への加入
・アダプト・サインボードの設置
活動団体(里親)の名前などを
明記したアダプト・サインボード
を設置することで、里親には自
覚とやりがいを、市民には都市
美化の啓発となります。



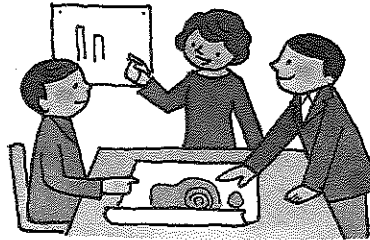
アダプト・プログラムの3パターン

一般型アダプト・プログラム



(例)・定期的に道路や河川などの
清掃活動をしている場合。
・毎日、街路樹と花壇に水や
りし、周辺の道路を清掃し
ている場合。

創造型アダプト・プログラム



(例)・市と協働で、公園などを企
画し、完成後、美化や管理
などの活動を行う場合。

文化財型アダプト・プログラム



(例)・民間敷地内の町のシンボルを、
地域住民で清掃している場合。
所有者等と活動団体の間で、
まず覚書を結びます。